

全国家具金物連合会総会の支部レポート要旨

平成28年10月14日に第50回全国家具金物連合会の通常総会が開かれました。そこで報告された各支部の内容の一部は以下のようでしたので要約してレポートいたします。

●東京支部からのレポート要旨

- ◇各企業間で商況はまちまち。マイナス金利の影響は今のところ感じられない。
- ◇世帯数が減少に転じる「2019年問題」が意識され始めた。
- ◇オフィス什器メーカーの内装への参入による商流の変化。
- ◇店舗関係は順調。
- ◇消費税増税前後の急激な需要の増減は起こってほしくない。

●静岡支部からのレポート要旨

- ◇取引先関係各所の世代交代による経験値が失われることにより結果としてフォローの機会が増大してきている。
- ◇ネットの価格情報が軽視できなくなっている。
- ◇昨年の消費税増税以来受注の継続はされているもののコスト面で厳しい要請がある。
- ◇家具の業界では量産家具より付加価値のあるオーダーメイドに進化してきている。
結果地域を超えてバイヤーが多い展示会に出展機会が増えている。
- ◇家具業界のすき間を依然として仏壇の相手先ブランド生産が続いている。
- ◇今後の景況の動向で①2017年度の消費税増税前の駆け込み需要②2020年オリンピックの特需があげられるが消費税増税後の停滞感をオリンピック特需でうまくフォローする流れでオリンピック特需を東京以外にも波及するような対策がのぞまれる。



●名古屋支部からのレポート要旨

- ◇トヨタの下請けの事故と熊本の地震とかの影響による生産減少で地域の経済に影響。
- ◇三菱自動車不正により下請け等の収入減による景気に対する影響も考えられる。

●大阪支部からのレポート要旨

- ◇市況は依然としてよろしくない。

●大川支部からのレポート要旨

- ◇熊本地震で家具メーカーや資材業者で影響があったものの幸いにも軽微だった。
- ◇家具量産メーカーの規格品のウエイトが下がってきて物件ものの比率がアップ。
- ◇棚物、箱物から台所家具テーブル椅子を取り入れるメーカーが増えている。
- ◇福祉施設等高齢化に対応する家具が多くなっているメーカーが増えている。
- ◇輸入品の価格競争商品より高機能付加価値製品が要求されている。

以上です。

